

令和2年度 第2回 君津中央病院企業団運営委員会（書面開催） 委員から寄せられた意見等について

議題1 第5次3か年経営計画の令和2年度進捗状況（11月末時点）について

- ・ 現況の新型コロナウイルス感染の拡大下では医療計画に沿った病院経営は困難な状況にあると思われるが、その中で、令和2年度の進捗状況を見ると全体的に努力目標は達成されていて、病院の経営努力が結果に表れていると思う。
- ・ 新入院患者数の減少はCOVID-19の影響と理解してよろしいか？
〔企業団〕⇒ご意見のとおり、手術制限等の影響が大きいと考えられる。
- ・ 新外来患者数の減少はあまりなかったと理解してよろしいか？
〔企業団〕⇒目標値は概ね達成しているが、前年度との比較ではかかり控えによる減少が見られる。
- ・ 薬品費は8,300万円の削減と理解してよろしいか？
〔企業団〕⇒昨年度の各品目の使用量ベースで4月の購入単価と比較し、価格交渉の結果、年間で約8,300万円の削減見込となった。なお、下期においても引き続き価格交渉を実施しており、更なる削減を見込んでいる。
- ・ 診療材料費も5,850万円＋検査試薬40万円の削減と理解してよろしいか？
〔企業団〕⇒ベンチマークシステムを活用した組織的な価格交渉により、診療材料費で5,850万円と検査試薬で40万円の削減となった。
- ・ 薬品費及び診療材料費の削減については評価したい。

議題2 君津中央病院企業団第6次3か年経営計画（原案）について

- ・ 第6次3か年経営計画策定に当たっては、各委員からの提言を現状に合わせ取りいれていて、実現可能な計画ができたと思う。ただ、この計画では以前から指摘されている内部留保資金の枯渇が危惧され、病院存続のためにも対策に取り組む必要がある。現状努力をされていると思うが、本計画以上の増収と支出の削減に取り組む必要があり、そのためには平均在院日数を削減、新入院患者数の増（目標数の設定）、DPC入院期間Ⅱ以内での退院75%、手術室稼働率70%以上など、努力次第で達成可能な目標をたてることと、同時に、病院機能の見直しとともに、4条への繰り入れについて構成4市と早急に検討されたい。

II-1-(1) 高度専門医療及び専門医療の提供

- ・悪性腫瘍手術件数について、第6次計画では計画値が1,170件から5%増で設定されており、第5次計画の目標値の40%となっているが、手術室の確保等を含め達成可能な値か？

〔企業団〕⇒5次計画の目標値827件は令和2年度の計画値1,240件を月割り（8か月分）した値である。なお、第6次計画の計画値については令和元年度及び令和2年度実績平均に対して5～10%増で設定しているが、現在は手術室の稼働率向上のために手術枠の見直し等に取り組んでいることから達成可能と考える。

- ・外来化学療法延患者数について、第6次計画では計画値を6,000人以上としているが、第5次計画の目標値2,233人、今年度の実績値3,564人を大きく上回っている。施行場所の確保等も必要と考えるが達成可能な値か？

〔企業団〕⇒悪性腫瘍手術件数と同様に、第5次計画の目標値2,233人は令和2年度の計画値3,350人を月割り（8か月分）した値である。なお、第6次計画の計画値については令和2年度実績が前年度と比較して500人ほど増加していること、また、当医療圏における悪性腫瘍患者推計から、腫瘍内科医師と協議したところ6,000人以上を計画値として設定しても達成可能とのことであった。

II-1-(4) 良質な医療提供のための人材確保

- ・医師及び医療技術職員の確保については具体的な計画値が設定されていないが、看護師のみ設定している理由を明確に説明していただきたい。
- ・実働看護師数643人を確保する計画としているが、一般病床89%、特殊病床48%の稼働率から算定されているのか？ICUを全床稼働する予定でいるのであれば不足と考える。

〔企業団〕⇒医師については3年間を通して行動計画に掲げている診療科医師を確保する計画としている。医療技術職員については現段階で概ね充足しており、欠員補充のための確保としていることから明確な数値目標は掲げていない。看護師については常時入れ替わりが多い職種であることから、各病棟、手術室及び外来等のその他共有部門において必要な人員数を精査したうえで計画値を実働看護師数643人に設定し、年間を通してこれを維持することを目標としている。

また、ICUについては看護師だけの問題ではなく、現状の救急医の数からも全床稼働させることは困難であることから、本計画では最大稼働病床数を14床とし、それに合わせた看護師数を設定している。

II-2-(2) 利用者満足度の向上

- ・患者満足度調査では詳細項目のどこに不満を感じているのかを明確にし改善すべきであると思うが、この第6次計画以外の委員会等で評価されているか？

〔企業団〕⇒常に患者相談窓口及び投書箱『声』に寄せられた意見等について把握し、院内の業務改善委員会でその内容について分析を行い、改善に努めている。また、利用者満足度調査の結果を基に日頃の取組を評価するとともに、同調査における不満の内容について分析し、更なる改善を図る。

Ⅱ－3－(1) 医療安全対策

Ⅱ－3－(2) 院内感染防止対策

- ・医療安全対策及び院内感染防止対策に関する研修会については、開催回数ではなく受講率100%で評価することが望ましいのではないか？

〔企業団〕⇒委員からの意見を受け、研修会受講率の計画値を追記する。

Ⅲ－1－(2) 働きやすい職場環境の整備

- ・患者満足度調査と同様に、職員満足度調査では詳細項目のどこに不満を感じているのかを明確にし改善すべきであると思うが、この第6次計画以外の委員会等で評価されているか？

〔企業団〕⇒職員満足度調査における項目ごとの不満の内容について分析し、医務局、看護局及び医療技術局等と人事課が協働で評価し改善に努めている。

財務計画について

- ・収益的収支計画における構成市負担金については、総務省からの「地方公営企業操出金について」を基本に構成市と協議されたい。
- ・資本的収支計画において構成市との負担金協議が行われるとのことだが、内部留保資金、特に損益勘定留保資金が令和4年度及び令和5年度にマイナスとなっている点も懸念材料である。

議題3 令和3年度君津中央病院企業団病院事業会計予算（案）について

6－(2)－(ア) 看護師養成奨学金について

- ・看護師養成奨学金の目的は学生確保か看護師確保のどちらか。看護師確保であれば採用数分として減額できるのではないか？

〔企業団〕⇒あくまでも学生確保が目的であるが、人材を育成し最終的に看護師確保に繋げるものである。なお、予算編成時において奨学金受給者が採用される人数は未定であることから、減額は不可と考える。ただし、

何らかの理由で当企業団に入職しない場合は全額返納することを前提としている。

議題4 令和2年度の経営状況（4月～12月期）について

COVID-19により経営環境が悪い中、経営改善の努力の成果が出ているものと判断できる。